ASEAN 大使通信
第２回　ASEAN 新議長国と新事務総長の始動

2023 年（令和 5 年）1 月 31 日

ルトノ・インドネシア外相への着任表敬（2023 年 1 月 6 日）

遅ればせながら、新年あけましておめでとうございます。ジャカルタに着任して早くも２か月が過ぎました。年末年始は当地でゆっくりと過ごし、気持ちを新たに日々の仕事に取り組んでいます。この１月、インドネシアが ASEAN 新議長国に就任し、カンボジアのカオ・キムホン首相補佐特命大臣が ASEAN 新事務総長に就任しました。また、日本 ASEAN 友好協力 50 周年を迎え、12 月を目途に開催予定の特別首脳会議に向けて徐々に活動を始めています。

今回の大使通信では、インドネシアの ASEAN 議長国就任とカオ・キムホン氏の ASEAN 事務総長就任を中心に、ジャカルタでの新たな動きをご報告します。

ASEAN 事務総長交代式典（2023 年 1 月 9 日、ASEAN 事務局提供）

●ASEAN 事務総長交代式典

年始早々の１月９日、ASEAN 事務局の大ホールで ASEAN 事務総長交代式典が開催されました。ASEAN 事務総長の任期は５年１期で、加盟国によりアルファベット順の輪番で選出されます。加盟国の常駐代表やパートナー国の大使、職員が一堂に会する場で、私も招待を受けて出席しました。

離任するブルネイ出身のリム・ジョクホイ事務総長は、コロナ対応を乗り切り、地域的な包括的連携（RCEP）協定の署名・発効を実現しました。新たに着任したカンボジア出身のカオ・キムホン事務総長は、シンクタンク所長や外務省国務大臣、首相補佐特命大臣などの要職を務めました。就任演説では、ASEAN の優先課題として、平和（peace）、繁栄（prosperity）、地球（planet）、人々（people）、パートナーシップ（partnerships）、潜在性（potentials）の「６つの P」を掲げ、出席者に強い印象を与えていました。

式典にはホスト国インドネシアのルトノ外相が臨席して、ASEAN の重要性と ASEAN 事務局の強化、事務総長の役割の向上の必要性を強調しており、心強く感じました。

ルトノ外務大臣の年次外交演説（2023 年 1 月 11 日、ルトノ外務大臣 Twitter）

●ルトノ・インドネシア外務大臣の年次外交演説

本年はインドネシアが ASEAN 議長国になります。1 月 6 日、私は ASEAN 日本政府代表部大使としてルトノ外務大臣に着任表敬しました。日本 ASEAN 友好協力 50 周年という重要な機会に、ASEAN 議長国を担うインドネシアの優先事項と指導力を生かすための意見交換ができました。

翌週の 1 月 11 日に、ルトノ外務大臣は年次外交演説を行い、私もオンラインで傍聴しました。インドネシア語はわからないものの動画で概要は理解できました。ASEAN 議長国のテーマとして「ASEAN Matters: Epicentrum of Growth」を掲げ、ASEAN を成長センターとするための協力を強化すると表明しました。

更に、「インド太平洋に関する ASEAN アウトルック（AOIP）」の実施を優先事項に据え、「平和で安定し、国際法を尊重し、包摂的協力を優先するインド太平洋は、ASEAN が成長センターとなる鍵」であるとして、インフラ等をテーマに「ASEAN インド太平洋フォーラム」を開催する方針を打ち出しました。

ミャンマーについては、ルトノ外相を長とする特使室を設置し、「５つのコンセンサス（5PC）」と ASEAN 憲章の基本的原則に基づき全ての関係者（stakeholders）の関与を得て、国民対話の実現を促進すると述べました。

カオ・キムホン ASEAN 事務総長への表敬
（2023 年 1 月 13 日、ASEAN 事務局提供）

●カオ・キムホン ASEAN 事務総長への表敬

1 月 13 日には、就任直後のカオ・キムホン ASEAN 新事務総長に表敬する機会を得て、ASEAN の対日重視姿勢を感じました。

私からは、ASEAN の中心性・一体性と「インド太平洋に関する ASEAN アウトルック（AOIP）」への日本の支持を改めて表明し、本年の日本 ASEAN 友好協力 50 周年を契機に ASEAN との関係を更に発展させたいと述べました。また、ASEAN 防災人道支援調整センター（AHA センター）を通じたミャンマーに対する人道支援として、3 億円（約 2.8 百万ドル）を拠出すると伝えました。

カオ事務総長からは、ミャンマーに対する人道支援を含めて ASEAN に対する日本の支援への謝意が表明されました。そして、50 周年を記念する様々な行事に連携して取組むとともに、幅広い分野の日 ASEAN 協力を一層強化していくことで一致しました。

カオ事務総長は、ASEAN に造詣が深いのみならず、大変エネルギッシュで発信力があります。今後の活躍を応援したいと思います。

柴田紀子法務省官房審議官のカオ・キムホン事務総長表敬
（2022 年 1 月 12 日、ASEAN 事務局提供）

●柴田法務省官房審議官の来訪

新年に入り、日本から ASEAN にも出張者が次々と来訪しています。１月 12 日には、法務省から柴田紀子国際・人権担当官房審議官が来訪しました。本年７月上旬に、日 ASEAN 特別法務大臣会合が東京で開催される予定です（G7 司法大臣会合もそれに合わせて開催予定）。2 月中旬にはこれに向けた日ＡＳＥＡＮ準備会合（高級実務者級）が予定されており、事前協議のために来訪したものです。

ASEAN 事務局ではカオ・キムホン事務総長を表敬し、ビン事務次長他との協議を行いました。また、複数のＡＳＥＡＮ各国の法務当局とも協議を行った由です。

日本は、2021 年 3 月に第 14 回国連犯罪防止刑事司法会議（京都コングレス）をホストしました。同会議では「京都宣言」が採択され、日本はその後も「司法外交」を推進しています。特にアジアでは、国連アジア極東犯罪防止研修所（アジ研）のマルチ研修や二国間の法制度整備支援などの実績があります。来たる日 ASEAN 特別法務大臣会合の成功に向けて、当地からもフォローアップしていきたいと思います。

佐藤百合国際交流基金理事の ASEAN ギャラリー視察（2022 年 1 月 27 日）

●佐藤百合国際交流基金理事の来訪

1 月 26 日には、国際交流基金の佐藤百合理事が来訪しました。日本 ASEAN 友好協力 50 周年に際しての文化・人的交流の強化に向けて、エカパープ ASEAN 事務次長（社会・文化共同体担当）やウラワデーASEAN タイ常駐代表（対日調整国）他と意見交換を行うとともに、ASEAN ギャラリーを視察しました。

10 年前の 2013 年、日本 ASEAN 友好協力 40 周年に際して、安倍総理は対 ASEAN 外交 5 原則の一つとして「アジアの多様な文化、伝統を共に守り、育てていく」を打ち出しました。そして日本 ASEAN 特別首脳会議で、「心と心のパートナー」を具体化する新たなアジア文化交流政策「文化の WA（和・環・輪）プロジェクト～知り合うアジア～」を発表しました。実施機関となった国際交流基金は「アジアセンター」を開設し、双方向の文化・交流事業と日本語パートナーズ事業を展開してきました。

今回の訪問時に出された様々なアイディアが、50 周年の新たな文化・人的交流のイニシアティブにつながるよう願っています。

ジャカルタポスト紙への金杉駐インドネシア大使との共同寄稿
（2023 年 1 月 21 日、同紙ウェブサイト）

●ジャカルタポスト紙への共同寄稿

政策広報も始めました。本年は日本 ASEAN 友好協力 50 周年・日本インドネシア国交樹立 65 周年にインドネシアが ASEAN 議長国を担うということで、金杉駐インドネシア大使との連名で、「福田ドクトリンを改めて推進する」と題してジャカルタポストに 1 月 21 日付で寄稿しました。

福田ドクトリンの「平和に徹し軍事大国にならない決意」「真の友人として心と心のふれ合う相互信頼関係」、「対等なパートナーとして ASEA の連帯と強靭性強化の自主的努力への協力」の３方針が今でも有効と説明しました。そして、今月の岸田総理の米国ジョンズ・ホプキンス大学での講演、ルトノ・インドネシア外相の年次外交演説を引用しながら、インド太平洋地域での日 ASEAN 協力の拡大や、次世代を中心とする人的交流・文化交流の推進の重要性を強調しました。

福田ドクトリンについては、当時の経緯を枝村純郎元駐インドネシア大使が論稿に残しており、深く考えさせられました。よろしければご一読ください。

日本インドネシア協会講演会のプレゼン資料（2022 年 1 月 26 日）

●日本インドネシア協会月例講演会

１月 26 日には、日本インドネシア協会のオンライン月例講演会で「ASEAN と日本：友好協力 50 周年から未来に向けて」というテーマで講演しました。今回、６つの問いを立てました。「今なぜ ASEAN か」「ASEAN とは何か」「日本と ASEAN の関係はどう発展してきたか」「ASEAN 議長国インドネシアの優先課題は何か」「日本 ASEAN 友好協力 50 周年をどう生かせるか」「ASEAN と日本の未来をどう創るか」です。これまで読んだ資料や聞いた話を整理し、当地や日本での最新動向を盛り込みました。

講演の最後に、世界を動かすのは、「トップダウン」と「ボトムアップ」のサンドイッチであり、50 周年の首脳会議の機会を活用して、一人ひとりが今ここから行動しようと訴えました。日本と日本人が改めて ASEAN という「鏡」と向き合い、自分の強みと ASEAN の強みを知って共通の課題への解決を共創し、インド太平洋地域と世界にスケールアップすること、そして「心と心のふれ合い」を次の世代につなぎ、日本と ASEAN の未来の担い手を創ることが大事だと思います。

今回の講演を契機に、メッセージを広く伝えながら、率先実行していく考えです。お時間とご関心がありましたら、講演のスライド資料をご覧いただければ幸いです。

インドネシア 2023 年 ASEAN 議長国就任イベント（2023 年 1 月 29 日）

●インドネシア 2023 年 ASEAN 議長国就任イベント

そして、先週末の 1 月 29 日（日）カーフリーデーの早朝に、インドネシアの 2023 年 ASEAN 議長国就任イベント（Kick-Off）が、市内中心部のブンダラン HI で開催されました。

ジョコ・ウィドド大統領が自転車でサリナホテル前に乗り付け、そこからルトノ外務大臣はじめインドネシア政府閣僚、カオ ASEAN 事務総長、ASEAN 各国常駐代表と外交団が、マーチングバンドや学生団体、文化団体とともにブンダラン HI まで、群衆に囲まれ歓声を受けながら行進します。そして、ブンダラン HI に設けられたステージで ASEAN 議長国就任を宣言し、集合写真を撮りました。

それで終わりではありません！そこから再度サリナ・モールまで行進して、外交団との朝食会を開催しました。私はジョコ大統領のテーブルに案内されて、朝食をご一緒する貴重な機会に恵まれ、気さくなお人柄に接することができました。

今回の行事に参加して、インドネシア政府は ASEAN 議長国としての取組を、広く国民を巻き込みながら盛り上げていこう、という強い意気込みを感じました。

この 1 年間 ASEAN を議長国としてリードするに当たって、このように大統領が率先して広く国民や外交団も交流する開かれた行事を開催することは、国内・国外から支持を得る上で大変有意義で効果的だと思いました。

本年、インドネシアで開催される ASEAN 関連会議は 266 件が予定されていると聞きました。これらの会議は、ASEAN 各国のみならず、日本をはじめインド太平洋地域や世界に大きな影響を与えることになるでしょう。そして、いかなる会議も人と人との信頼関係が大事です。今回、この行進や朝食会で一緒に時間を過ごした人たちとの関係を大切にして、インドネシアの ASEAN 議長国が成功し、日本 ASEAN 友好協力 50 周年が成果を挙げるよう、最大限に努力を続けていく所存です。皆様におかれても、是非ご協力いただければ幸いです。

ASEAN 代表部大使
紀谷昌彦

（以上）